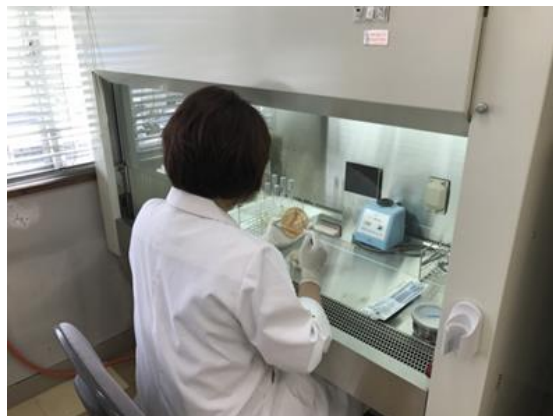


【臨床検査技師】

◎主な配属先、業務内容

■出先機関

健康福祉センター



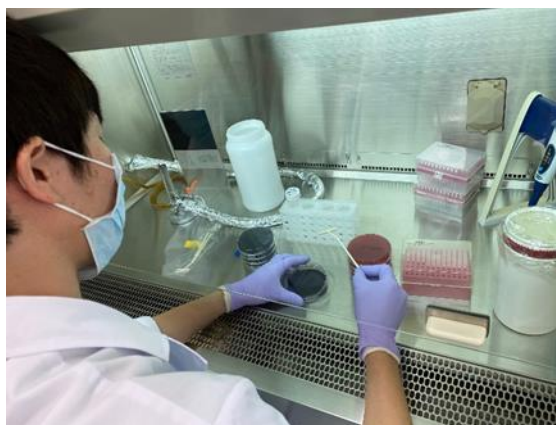
- 行政検査として食品等の細菌検査、理化学検査や放流水・地下水等の水質検査、公衆浴場や旅館等の浴槽水検査
- 環境衛生監視員として理容所、美容所、旅館等への立入検査等

県立病院

- 県立病院を受診された患者さんの血液・尿等の検体検査、手術や内視鏡材料の標本作製し鏡検する病理・細胞診検査、心電図・呼吸機能・エコー・脳波などの生理機能検査、外来の患者さんの採血

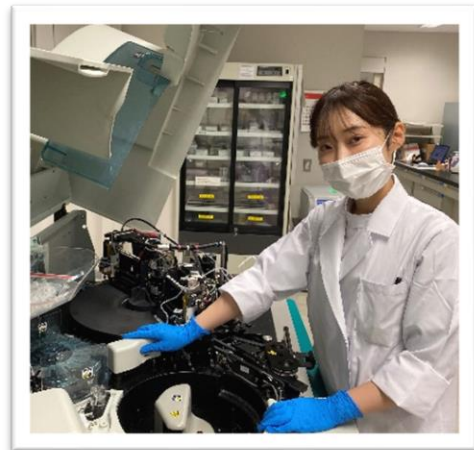


衛生環境研究センター



- 感染症や食中毒の原因となる病原微生物に関する試験検査(臨床検体、微生物株、食品、飲用水、浴槽水等が対象)および調査研究
- 感染症情報ホームページを通じての感染症情報発信

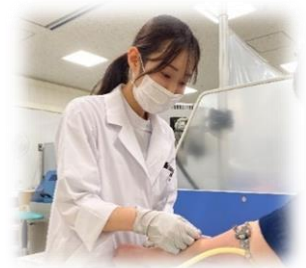
【臨床検査技師】令和3年度採用



県立病院

福嶋 菜々

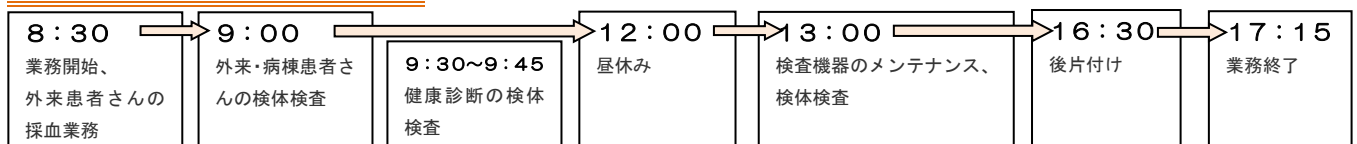
(金沢大学 医薬保健学域保健学類 卒業)



【主な担当業務】

- ・外来の患者さんの採血業務
- ・生化学検査業務（血液や尿中に含まれるタンパク質や酵素・脂質・電解質などの化学物質を測定する）
- ・免疫検査業務（B型肝炎・C型肝炎・梅毒などの感染症に関する抗体、ホルモン、腫瘍マーカーなどを調べる）

◎ある一日のスケジュール



◎福井県職員を志望した理由

私は、幼いころから福井県の美しい自然、あたたかい人々に支えられ育ってきたので、**住みやすく、慣れ親しんだ福井で就職したい**と考えていました。他県の大学に進学し、福井を離れたことでその思いは強くなり、福井県に少しでも恩返しをしたいと考えるようになったため、受験を決めました。たくさんの患者さんがいらっしゃる県立病院で、自身の知識や技術を生かした効率の良い検査を提供することで**県民の皆様を健康面から支えることができる幸せを感じながら日々勤務**しております。

◎仕事をはじめて感じていること

現在、県立病院に配属され、生化学・免疫検査業務、採血業務に携わっています。配属されてから約1年が経ちましたが、少しずつ慣れ、日々の業務に楽しさとやりがいを感じています。特に採血業務では採りにくい患者さんの採血ができるようになってきたり、**患者さんに「痛くなかったよ、上手だね」と褒められたりするたびやりがい**を感じます。これからも日々向上心を持って業務に取り組み、**県立病院の理念にあるように県民の方々に高度な医療を提供するための幅広い知識と迅速な手技を身に付けていきたい**です。

◎魅力・やりがい

福井県立病院は病床数が多く、第3次救急指定病院でもあるため、24時間、たくさんの患者さんがいらっしゃいます。そのため、**多くの県民の皆様と関わり、健康面で貢献できることは魅力の一つ**です。様々な症例を経験することで自身の知識や手技が向上し、**県民の皆様を健康を支えていくことにつながる**という点にやりがいを感じます。また、**配属先が病院だけではないため、様々な分野の仕事を経験することでスキルアップにつながるという点も大きな魅力**だと思います。

◎採用試験対策

1次試験に関しては、専門試験は特別な対策はせず、国家試験対策のテキストや過去問を解いて、国家試験に向けての勉強をしていました。教養試験は出題範囲が広く、すべてをカバーすることは難しいと判断したので、特に**頻出分野の数的処理と文章理解に重点**を置きました。その他の科目は高校の教科書を読む、過去問を解くなどして対策しました。2次試験に関しては、**石川県のジョブカフェや大学の就職支援室**を利用して、面接練習を行いました。私は緊張しやすく、面接試験が不安だったので、とにかく回数を重ねて不安要素を無くそうと努めました。結局本番も緊張してしまいましたが、練習したことは自信にもなったし、ほかの方も同じように緊張していると思いますので、**リラックスして取り組んでください**。

◎後輩たちへ一言

臨床検査技師として福井県職員に採用されると、**配属先は県立病院だけではなく、健康福祉センター(保健所)や衛生環境研究センターがあります**。そのため、様々な分野を経験し、たくさんの患者さんやほかの職種の方々と接する機会を通して、さらに幅広い視野や知識、技術を身に付けることができます。

県民の皆様を健康と自身のスキルアップのため、福井県職員の臨床検査技師として共に働ける日を楽しみにしております！